

(様式 3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	愛知県	市町村名	瀬戸市	大学名	
派遣日	令和 6 年 7 月 31 日 (水曜日) 13:30～15:30 【研修の日程】 13:00 ～ 講師 (アドバイザー) 到着 13:30 ～ はじめの言葉・講師紹介 13:35 ～ 15:20 講義 15:20 ～ 15:28 質疑 15:28 ～ おわりの言葉				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / 遠隔				
派遣場所	瀬戸蔵 4 階 多目的ホール 愛知県瀬戸市蔵所町 1 番地の 1 97-1555				
アドバイザー氏名	元豊橋市教育委員会 外国人児童生徒教育相談員 築樋 博子 先生				
相談者	主 催：瀬戸市教育委員会 出席者：日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する学校の担当者 日本語初期指導員、日本語指導員、日本語教育推進委員				
相談内容	「令和 6 年度 瀬戸市外国人生徒アドバイザー研修会」 演題：「日本語指導が必要な児童生徒のための指導・支援」 ～子どもたちの明るい未来のために～ これまで日本語指導を必要とする児童生徒は一部地域に集中する傾向があったが、近年、市内各地区に散在化してきている。そのため市内各校で日本語指導を必要とする児童生徒の受入について改めて周知するがあると考えた。また、外国人児童生徒の担当教員の入れ替わりが激しく、児童生徒への対応の仕方、指導について理解を深める必要があると考えた。そこで日本語指導の全体について学ぶとともに、個に応じた適切な指導を行うためどのような視点で目標を設定し「個別の指導計画」を作成ししていくと良いかご指導いただきたいと考え、本事業に相談させていただいた。 当日は、以下の 3 点を中心にご講演をいただくよう、事前打ち合わせで依頼した。 [内容] 1 編入直後の受入れの留意点 2 日本語初期指導について 3 「個別の指導計画 様式 2 指導に関する記録」作成・見直しのポイント				

(様式 3)

派遣者からの指導助言内容	1 編入直後の受入れの留意点について ・受入のために準備しておくの良い資料・教材、動画、アプリ等について紹介していただいた。転入・編入の際には、必要な書類をあらかじめ言語別で準備しておくことで保護者の負担を軽減できることや、家庭環境を良く把握できるように情報を収集し手続きをした担当者と他の教員と情報を共有しておくことが大切であるとご助言いただいた。 2 日本語初期指導について ・日本語指導のプログラム（しくみ）から、初期段階で必要な日本語基礎の指導方法、日本語と教科の統合学習の方法等について丁寧にご説明いただいた。国や地域によって教育課程や学習歴が異なることから、母国での学びについて配慮しつつ日本の教育課程にあった教科指導につなげていくことが大切であるとご助言いただいた。また、「日本語を学ぶ学習」から「日本語で学ぶ学習」につなげていくことが大切であることもご助言いただいた。 3 「個別の指導計画 様式2 指導に関する記録」作成・見直しのポイント ・「特別の教育課程」による日本語指導「個別の指導計画」の作成にあたり、指導目標をどのように考え、日本語の力をどう判断するのかご教授いただいた。また、評価については場面と手段、成果が読み取れるように個人内評価として記載するとよいことをご助言いただいた。
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	本研修を受けて以下の点について今後取り組んでいきたい。 ・編入直後の受け入れについて 世界中でコロナが及ぼした教育への影響が大きく、各国での対応や教育状況に違いがあることがわかった。今後、増えることが予想される外国人児童生徒の受け入れについて、各国の現状を加味し、柔軟に対応していきたい。また、紹介いただいた翻訳アプリや資料などを活用して保護者と円滑に意思疎通が図れるようにしていきたい。 ・日本語初期指導について 本市では、日本語初期の前期にあたる指導を必要とする児童が年々増加してきている。限られた人員で今後の日本語初期指導を充実させていくためにどのような視点で計画すべきか、研修会終了後に日本語初期指導員で意見交換を行った。引き続き、初期指導で行う指導のプログラムを見直していくとともに、各校の日本語指導教室での指導と円滑に接続できるように検討していきたい。 ・個別の指導計画の作成について はじめて日本語指導が必要な児童生徒の受入を行う学校にとって、目標の設定や評価について具体的に説明いただき、大変参考になった。ご助言いただいた「発達に合わせて、単純な構造から、徐々に長く複雑な構造の文へと教えていくこと」や、「日本語を学ぶ学習から、日本語で学ぶ学習」へ発展させていくことを念頭に、各校での指導計画の作成を進めていきたい。また、瀬戸市では、令和8年度の小学校3校の統合に合わせて、瀬戸市の日本語カリキュラムの作成を進めている。今回の研修でご助言いただいた指導の視点に留意して作成を進めていきたい。

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。